

独立した健全な監視機能と経営執行の両面から 新生オリンパスを成長軌道へと導いてまいります。

社外取締役

後藤 卓也 Takuya Goto

私が育った花王では早期から社外取締役を採用し、役員の退任慰労金を廃止するなど、健全なガバナンス体制の確立に率先して取り組んできました。そうした経験を踏まえて、社外の立場からオリンパスの常識は世間の非常識になっていないかどうかをチェックし、違ったものの見方・考え方もあることを披瀝していくのが、私達の役割だと認識しています。社外取締役がそれぞれの役割を実行することで、課題の早期解決を諮りながらオリンパスの健全な成長のお役に立ちたいと考えています。



社外取締役

蛭田 史郎 Shiro Hiruta

新しいガバナンス体制の構築は、それ自体は手段に過ぎず、本来の目的はオリンパスの経営を適正かつ健全な方向に導くことにあります。社外取締役が過半を占める新体制下では、私達にも経営の根幹を理解した上で適切な判断を下す責任が求められてきます。新経営体制が今後対面する経済環境の中でオリンパスが着実な再生を果たすべく、事業環境に合わせた事業戦略の適合性という部分について、現執行部の経営執行をサポートしていく所存です。



社外取締役

藤田 純孝 Sumitaka Fujita

会社のガバナンスで重要なことは、体制の「形式」をいかに整えるかではなく、その「実効性」をいかに実現するかであると考えます。その意味で、新体制による当社の経営において、多様な経験と知見を持ち、独立性の高い社外取締役の果たすべき役割は、時として社内だけで通用する価値観・判断のチェック機能を含め、経営執行の監督と支援の両面において極めて大きいと思います。オリンパスの再生と健全な成長に寄与できるよう、最善を尽くす所存です。



社外取締役

西川 元啓 Motoyoshi Nishikawa

現在、オリンパスは社会からの信頼回復に向けて、厳しい荒波の中をようやく船出した状態にあるといえます。そうした中で、健全な経営執行が行われているか、経営決定のプロセスが適正な手続きで行われたか、利益相反行為がないかを監督し、公正な情報開示を通して早期信頼回復に努めていくことが、独立した社外取締役の第一の役割と自認しています。社内での忌憚ない議論を活発化し、自由闊達な風土を取り戻すお手伝いをさせていただき所存です。



社外取締役

今井 光 Hikari Imai

新ガバナンス体制では、社外取締役が一定の権限のある立場を確保することにより透明性と経営監視機能が強化されました。同時に、社外取締役に見識とバランス感覚を持った第三者の方々が多数入ることによって、社内取締役の積極的な経営執行をサポートする機能さえ期待できます。オリンパスは市場競争力を持ったコア・バリューを明確に確立した成長性の高い会社ですので、早急に正しい成長軌道を回復するための一助となればと考えています。



社外取締役

藤井 清孝 Kiyotaka Fujii

グローバルな医療業界におけるリーディングカンパニーであるオリンパスにとって、それにふさわしいガバナンス体制が求められています。「オープン性」をキーワードにして、今までのグローバルビジネスでの経験を活かしながら日本の独自性とグローバル性の両方を兼ね備えたガバナンス体制を構築し、オリンパスが世界に誇れる真のリーダーとなるべく、経営陣をサポートし事業のさらなる成長に貢献していく所存です。

